

情報通信審議会情報通信技術分科会

海上無線通信委員会作業班第1回会合 議事要旨

- 1 日時 平成19年10月25日(木) 14:00~16:20
- 2 場所 総務省9階 901会議室
- 3 出席者
 - (1) 構成員(敬称略)
鈴木 務(オブザーバー)(主査:電気通信大学名誉教授、日本工業大学名誉教授)、中村 勝英(主任:水洋会)、安藤 勝美(日本無線(株))、内海 邦夫(水産庁)、大井 清((社)全国漁業無線協会)、阪井 英太(トキメック(株))、坂口 忠男(古野電気(株))、谷道 幸雄(代理:市川 良一)((社)全国船舶無線工事協会)、田原 孝義(古野電気(株))、遠山 修((株)ゼニライトブイ)、畠山 仁(海上保安庁)、平林 光雄(太洋無線(株))、細野 雄二(海上保安庁)、矢内 崇雅((株)沖コンサルティングソリューションズ)、山本 泰三((社)日本船主協会)
 - (2) 事務局
坂中企画官、濱崎課長補佐、松井海上係長
- 4 議事概要

事務局から、議事次第に基づき、開会の挨拶、構成員の紹介、配付資料の確認があった。

 - (1) 海上無線通信委員会の審議開始について
事務局から、参考50-作1-1~3に基づき、審議開始の背景等の概要について説明が行われた。
 - (2) 第4回海上無線通信委員会の報告
事務局から、資料50-作1-1~4に基づき、第4回海上無線通信委員会での決定事項について説明が行われた。
 - (3) 会議の進め方について
事務局から、資料50-作1-3に基づき、海上無線通信委員会の全体スケジュールについて説明が行われた。
 - (4) 簡易型AISについて
事務局から、資料50-作1-5-01~02に基づき、AIS及び簡易型AISの概

要について説明が行われた。続いて、田原構成員から、資料 50-作 1-5-03 に基づき、簡易型 AIS の技術的動向について説明が行われた。続いて、矢内構成員から、資料 50-作 1-5-04 に基づき、AIS 及び簡易型 AIS に関する国際動向及び適用状況について説明が行われた。続いて、事務局から、資料 50-作 1-5-05 に基づき、国内における簡易型 AIS の技術基準策定について説明が行われた。

その際、構成員より、以下のような意見が出された。

- 簡易型 AIS の海外での普及状況を把握した方がよい。
- 簡易型 AIS の技術的条件は主に次の観点から検討されるものと思われる。
 - ・ 国際標準規格 (SOTDMA と CSTDMA)
 - ・ 日本語オプション機能
 - ・ 陸上局との調整
 - ・ 無線従事者の資格

(5) 小型船舶救急連絡装置等について

大井構成員から、資料 50-作 1-6-01 に基づき、小型船舶救急連絡装置等の背景等概要について説明が行われた。続いて、平林構成員から、資料 50-作 1-6-02~03 に基づき、小型船舶救急連絡システムの概要及び小型船舶位置情報伝送システム（付加装置）の技術的条件について説明が行われた。続いて、坂口構成員から、資料 50-作 1-6-04~05 に基づき、小型船舶位置情報伝送システムの概要及び技術的条件について説明が行われた。

その際、構成員より、以下のような意見が出された。

- 27MHz における他運用システムとの信号識別、混信回避を検討すべき。
- 陸上局との調整を検討すべき。
- 通信を行う信号のフォーマットを調整すべき。
- 転落者が身につけている小型端末からの電波を、捜索船で拾うのには、その距離が限られてしまう。
→ 小型船舶が、転落者の近くに停止していることにより、捜索船は転落者を発見しやすくなるものと思われる。

(6) 今後のスケジュール

事務局より、今後のスケジュールについて連絡があった。

【配付資料】

資料 50-作 1-1

資料 50-作 1-2

資料 50-作 1-3

資料 50-作 1-4

資料 50-作 1-5

資料 50-作 1-6

【表 題】

「海上無線通信設備の技術的条件について」のうち「簡易型 AIS 及び小型船舶救急連絡装置等の技術的条件」について

海上無線通信委員会運営方針

海上無線通信委員会審議方針

海上無線通信委員会作業班構成員

簡易型 AIS 関連資料

小型船舶救急連絡装置等関連資料

【参考資料】

参考 50-作 1-1

参考 50-作 1-2

参考 50-作 1-3

【表 題】

「海上無線通信設備の技術的条件について」諮問第 50 号
(平成 2 年 4 月 23 日)

海上無線通信委員会における審議状況

海上無線通信委員会構成員名簿